



こ幼保 救命教育 指導案 3

1 活動名

「たいせつなからだのひみつ ～いのちってなあに～」

2 ねらい

- ・ 見ることや体験を通して心臓と呼吸について知る
- ・ 心臓が動き、呼吸をすることにより生きていること（遊んだり、食べたり、寝たりなど）を考える
- ・ フリートーキングを通して自分や周りの人の体について興味を持つ

3 活動内容

時間	保育の内容・環境構成	予想される子どもの姿	保育士・教諭の援助
10分	①心臓の模型（ポンプで作成したもの）をみてフリートーキングを行う ↓ 「これは心臓といます」	<ul style="list-style-type: none"> ・ しんぞうと答えられる子もいる（年中、年長） ・ 形や色を言う ・ 見たことある～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恐怖心を抱かないような問いかけをする ・ 子どもが考えられるような進め方を工夫する
10分	②心臓がどんな働きをしているか知る ・ 1分間ジャンプした後に胸に手を当ててドキドキを実感する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士の動きを真似しながら自分のドキドキを感じられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなの体の中に血を運んでいる大事なお仕事をしているよ」などのわかりやすい説明をする ・ 保育士が実際にジャンプして子ども達が真似できるようにする
10分	③呼吸（イキ）をしていることを知る ・ 手に息をかけて呼吸を実感する ・ 胸とお腹の動きを見ることで呼吸していることを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士の動きを真似しながら吸ったり吐いたりできる ・ 胸とお腹の動きを見たり触ったりして、呼吸している時としていない時の違いを見る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士がおおげさに吸って～吐いて～と呼吸し興味を持たせる ・ 仰向けになり胸とお腹の動きを見るように説明する。呼吸をとめて違いを見せる
5分	④心臓のドキドキとイキをしているから生きているということを知る		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちが毎日遊んだり、食べたり、寝たりなどしているのは心臓と呼吸が大切な仕事をしているからということの説明する

救命教育実践後のご意見、ご感想等をぜひお聞かせいただきたく、QRコードもしくはURLよりアンケートのご協力をお願いいたします。

URL <https://forms.gle/2xUW6vdGJ54xAbB58>



2021 Team いばらき 発達段階に応じた救命教育プロジェクト